

ハワイの女神たち

サージ・カヒリ・キング (2005)

ハワイの神と女神に関する概念は西洋や近東の伝統とは全く異なっています。また、アフリカ、オーストラリア、南北アメリカでの伝統とも異なります。いくら違うとは言え、他に比べてインド、中国、日本の折衷主義的な伝統に近似しています。

女神のハワイ語はアクア(akua)で、その意味は非常に曖昧です。あらゆる、そして全ての事物の不可視な動因、創造的本質である霊を表わす為に用いられました。創造主、風、満月の第一側面^{訳注1}、高位の長(おさ)、奴隷、幽霊、そして働きを為す要因になるもの全ては、特定の文脈においてアクアと称されていました。しかしながらこの言葉は主に、たくさんのマナ(manua;力や影響)を有する勢力、人物や事物に用いられました。このことは、例えば火山の女神ペレ(Pele)という存在に関する物語を聞いたり読んだりする時に、物語が自然現象の霊についてなのか、それともある特定された家系の先祖についてなのか、それとも両方が、またはどちらでもないか、決して定かではありません。

ハワイの神と女神に関する特性のもう一つは、多くの場合個別で非連続な点です。ギリシャのタイタンに敵対するオリンピアンズ^{訳注2}、あるいは古代スカンジナビアのバニールに敵対するアーサー^{訳注3}等に詳しい方々には、ハワイの神と女神の関係は理解し難いでしょう。

『ハワイの神話』の中でマーサ・ベックウィズ(Martha Beckwith)が、「移住してきた別々の家族が、自分たちが馴染んでいる神々と儀礼を持ち込んだのではないかと、私には思える。」と述べている通りなのです。多くの異なる民族と時代の神と女神たちの形式を少なくとも整え、統合的な全体像に位置づけようと試みたヒンズーの仕組みとは全く違い、ハワイ人はほとんどその様な事をあえて行わず、非常に異なる伝統を幸せな混沌の中で共存させてきました。稀な事例として、いくらかの統合が試みられたのですが、常に限定された範囲内でした。

ハワイの神と女神における特性として述べる必要があるもう一点は、力を増したとされる程、より多様に自分の意思で形を変える点です。最も偉大なそれらは、人間、動物、植物、鉱物、その他に姿を変えます。例えばカマプアア(Kamapua'a)神は人間、豚、魚、一種の草、雨にさえ形を変えることが出来ました。ハワイ語では、これらの形はkino lau(多くの体)と称されます。

ここでは、ハワイの女神に注目します。とても多く存在しますので、主な7女神だけ見ようと思います。それでも各々の女神に関して少しの情報しか提供できないでしょう。ベックウィズ著『ハワイの神話』などの書物による様々な情報源に加え、彼らの伝統を個人的に教えてくれたカヒリ家^{訳注4}の人々による情報を加えます。

ヒナ(Hina)は最も古い女神だと思われれます。太平洋中でヒナ(Hina)、シナ(Sina)または、イナ(Ina)として知られているからです。本質的に彼女は女性エネルギーを代表します。彼女の名

の変形であるヒネ (hine) は、女性あるいは女性らしさを意味する語尾として使われます (例えば wahine 訳注5)。多くの物語の中で彼女は、月、海、そして癒し、タパ作り等の女性の仕事と密接に関連しています。彼女は人間による活動の広い範囲を網羅する多くの、とても多くの異なる側面と別称を持っています。最も古い物語では、彼女は様々にマウイ (Maui) 訳注6の妻、妹、母、祖母になっています。より新しい信仰では、カネ(Kane)またはク(Ku)訳注7の妻とし現われます。しかし彼女はペレ(Pele)の殿堂には、どこにも姿を現しません。ヒナ(Hina)の意味は、「転ぶ、灰色の、直線コースにひょっこり顔を出す」です。彼女の形には、'elepaio 鳥、珊瑚、バナナの種類、そして瓢箪が含まれています。

ハウメア(Haumea)は偉大な大地の女神であり、時には創造の女神であるパパ(Papa)や、またある時には最初の女性であるライライ(La'ila'i)と同様にみなされます。彼女の子供たちは、大地の女神に相応しく、体の様々な部位から誕生したと言われていています。彼女が非常に古い女神であるのは、母親役を担い、ペレを含む数種のハワイでの信仰に関連していることが証明しています。彼女は通常、食糧供給、結婚、誕生、再生と関連しています。詠唱(チャント)の中で彼女は、「不思議な姿、八重の姿、四十万姿の」ハウメアと称されます。しかし、一番普通に知られている姿は、美しい木です。ハワイ語にはハウメアという単語はありません。ハウ(hau)は支配者を、メア(mea)は「(大地のように)赤っぽい」という意味します。大地の女神という地位にゆえに、そしてハワイ人は石を大地の骨とみなすので、カヒリ家では彼女は石のエレメント訳注8を代表します。

ペレは今日最もよく知られています。学者たちは、彼女は純粹に地方の産物だと捉えていますが、ペレの物語はこの島々に彼女は他の場所から来た、と伝えます。時には人間としてタヒチから、またある時にはハワイ火山環を形成する自然の力として。しかし最も人気がある物語では、彼女は来た時に既に在った島々を見つけて、最初にニイハウ(Niihau)、次にカウアイ(Kauai)に到着し、今日の住まいであるビッグアイランドのキラウエアのクレーターにたどり着くまで、進んで行きます。

ペレという彼女の名前はハワイ語では、流れた溶岩を意味します。ですから彼女は流れた溶岩に住む精霊ではなく、流れた溶岩の霊そのものです。しかし、彼女は冷えた溶岩ではないので、彼女の島々から溶岩を持ち帰った全員を呪うという伝説は近年の神話であり、古代ハワイからの伝統ではありません。彼女自身や彼女の霊的家族の性情により現わされる彼女の姿は、年老いた、熟年の、あるいは若い女性であり、白い犬、火、溶岩、風、雲、雷、そして稲光です。彼女は火山の傾面に生える'ohelo 植物と関連しています。

ヒアカ(Hi'iaka)は、ペレの妹で、卵の形で生まれました。彼女は「ペレの脇の下のヒアカ」と訳される“Hi'iaka i ka poli o Pele”と名づけられました。多分、宣教師が意味を転じたのでしょうが、ペレの8人の妹の一番下で最も可愛がられたので、「ペレの胸の中のヒアカ」とも称されます。しかしながら初期の解説では、ヒアカは、ペレと一緒にハワイに来た唯一の妹だと示されています。他の妹は原型であるヒアカの側面にすぎません。ところで「脇の下」は、体の一部の婉曲表現でしたから、ヒアカは実際にはペレの娘でしょう。

ヒアカの妹たちは全て雲の形なのですが、ウィリアム・エリス(William Ellis)による訳で

は、彼女たちの本当の名前は「雲を支える」という意味で、雲そのものではありません。Hi'iaka-wawahi-lani(天を引き裂く雲の保持者) ; Hi'iaka - kapu- enaena (赤く熱い山を保持する雲) ; Hi'iaka noho-lani(天に住んでいる雲の保持者)などです。

hi'iaka という単語は分割された意味をハワイ語辞書に見つけることは出来ません。しかし、hi'i は「何かを運ぶこと」を、ka'a は「雲に沿って動くこと」を意味します。ヒイアカの別の形は羊歯、あるいはアスパラガス・スプレングリ(lace fern)で、'ohi'a lehua という木とも関連しています。風は雲を保持するとみなされ、彼女は多くの旅をしたので、カヒリ家では彼女は風のエレメントを代表します。

ラカ(Laka) はフラと森林の女神としてとてもよく知られています。今日でも伝統的なフラのハラウ(家)では、祭壇や捧げものが、非常に限定された一連の植物と一緒に、ラカに敬意を表して備えられています。ハワイのある伝統では、両方ともラカと称される兄・妹がフラをこの島々にもたらした、と言われていています。多くのフラの踊り手によってラカに祈りは捧げられますが、フラそのものがラカに捧げられるのはあるとしても稀れなのです。

数多くの物語がラカを受胎や多産と結び付けているので、ベックウィズは彼女を「愛の女神」と称します。名前のラカ(laka)は、「優しい、従順な、魅了された、魅了する」という意味で、ラカに愛だけではなく、富も魅了するように請う古い詠唱(チャント)があります。全く異なる由来を持つのですが、ペレ信仰と何らかのつながりを彼女は持っています。森林と関連するので、彼女は植物のエレメントを代表します。

カポ(Kapo)はペレのいくつかの物語と深くつながっていますが、モロカイにおける物語はペレが島々に辿り着くずっと前から、彼女はモロカイの占い師の家系の一員だったと伝えています。彼女のフルネームは、Kapo-'ula-kina'u で、「暗闇がきらめく聖なる夜」あるいは「赤い鰻の女」を意味します。カポは、膾を取り外し出来る事でとても有名で、ペレの一つの物語の中で彼女はこの能力を使ってペレの膾を海の彼方に投げ、カマプア(Kamapua'a) がそれを追って行くことでペレが強姦されるのを防いでいます。

彼女は再生(生殖)のエネルギー、ハーブによる癒し、チャネリングと今日称されることとも関連しています。彼女は意思で多くの姿を現す事が出来ると言われてっていますが、大抵は鰻、鳥、そして halapepe の木と関連します。彼女は他の女神よりも動物との関連が深いので、動物のエレメントを代表します。

ウリ(Uli) は、魔法や占いの女神として知られています。同時に彼女は、癒しの知識に造詣が深いです。彼女は時には地下世界(アンダーワールド)の神マヌア(Manua)、あるいは天上世界(アッパーワールド)の神ワケア(Wakea)の、また時にはとても知的な神ロノ(Lono)の妻または妹ともみなされています。ウリはヒイアカ(Hi'iaka)により、彼女の恋人であるカウアイの長、ロヒアウ(Lohiau)を生き返らせる最後の頼みの綱として、祈りを捧げられています。彼女の名前のウリ(uli)は、「全ての暗い色」、「舵を取る」あるいは「予知」を意味します。ウリリ(ulili)という鳥であるキアシシギは、彼女の一番普通の姿ですが、熱帯の鳥や千鳥の形も取ります。

カヒリ家ではいかなる女神も礼拝しませんでした。特定の性質や側面、あるいは癒しの力を引き出す為、友人として彼女たちに呼掛けることはしました。私は、神や女神が独自の能力や影響力を発揮するギリシャやローマの神話に親しんでいましたので、カヒリ家が女神たちの力を知的にではなく、直感的に用いるやり方に最初戸惑いました。

ですからペレは火のエLEMENTとして、彼女が持つ溶岩の熱、エネルギーと動きのゆえ、循環を促進する助けの為に呼び掛けられるでしょうし、また火山の爆発が大地とその周りの人々の生活を劇的に変化させる様に、劇的な変化や変容をもたらす為にも呼び掛けられるでしょう。ヒアカは風のエLEMENTとして、「場を清める」(風は方向があるので)何かを探す、(風は雲と雨をもたらすので)人生に何かをもたらす、あるいは(風は方向を変えるので)何かを変える助けの為に、呼び掛けられるでしょう。

其々の女神はいくつもの力と能力を持つので、同じ目的の為にどの女神も用いることが出来る方法が常にありますから、特定の状況であなたが適切と感じるいかなる方法を用いても、彼女たちは手助けしてくれます。

もう一つの混乱を招く事柄に、色の属性があります。虹には全ての色を含む白も入れて、7つの色がありますので、其々の女神と特定の色を関連づけたくくなります。それが有効ならば勿論そうしても構わないが、全てのELEMENTはあらゆる色を産み出せるのを忘れない様に、私は言われました。

同様に、特定の女神にフナの7原則^{註9}を当てはめたいという強い願いが私にはありました。再び、したければそのようにしても構わないが、其々の女神の力は全ての原則の観点から解釈出来るのを忘れないように、とも言われました。

それでこれまで私は様々な機会において、女神たちについて異なる方法で教えてきましたが、生徒側にいくらか混乱を招いた様です。では、ハワイの女神たちの概念を理解し用いる初期の段階において、癒しという目的に限定し、ここに名前、原則、色、ELEMENT、そして主なる機能の順で『ハワイの女神たちの初段階組織』(Ola 'Ana Papakahi o Na Akua Wahine Hawai'i)を記しましょう。

ヒナ(Hina):Ike 白、水、覚醒、(知識)
ハウメア(Haumea):Kala 赤、石、自由(開放)
ペレ(Pele):Makia オレンジ、火、集中(エネルギー)
ヒアカ(Hi'aka):Manawa 黄色、風、存在(目的)
ラカ(Laka):Aloha 緑、植物、愛(慈悲)
カポ(Kapo):Mana 青、動物、力(能力)
ウリ(Uli):Pono 紫、人間、成功(効力)

もしこれらが、あなたが既に学んだ事と違っていたら、申し訳ありません。もしこれがあなたの助けになるならば、幸いです。

訳注 1 満月の第一側面を満月の最も際立った側面と捉えるならば、「行動する陽」(Yan in action)と、見なされるでしょう。

(参考 Stephen Karcher 著 “ The Kuan Yin Oracle ”, 2001)

訳注 2 オリンピアンズ (the Olympians) は、タイタン (Titans; 巨人族) を支配していた、ゼウスを始めとする 12 神です。オリンピア山にちなんで名づけられました。

訳注 3 アーサー (the Aesir) は、古代スカンジナビアの神の主要な系統とされています。パニール (the Vanir) は、人間と他の有限な存在を支配していました。

訳注 4 カウアイ島出身で、クプア (ハワイのシャーマン) 家系であるカヒリ家は、サージ・キングをジョセフ・カヒリの孫として家の一員に受け入れて訓練しました。サージ・カヒリ・キングは現在、フナ・インターナショナル (Huna International) あるいはハワイ語名称 “ Halau Kalakupua o Kahili ” (カヒリ家伝統シャーマンの実践集会所) の Kahu という肩書きの長です。

訳注 5 女性、婦人、妻などを意味します。

訳注 6 ポリネシアの最も有名な英雄です。

訳注 7 カネ (Kane) とク (Ku) は、ここでは人物として表わされていますが、カネは生命エネルギーそのもの、そしてクは無意識、あるいは身体的自己、とも理解されます。

訳注 8 (クプア即ちハワイのシャーマンによる) 『エレメントへの働きかけ』の和訳がこのセクションに載っています。

訳注 9 フナの 7 原則とは以下の通りです。

Ike 第一原則：世界はあなたが考える様にある。

Kala 第二原則：限りというものはない。

Makia 第三原則：エネルギーは注意が向く方へ流れる。

Manawa 第四原則：今が力の時である。

Aloha 第五原則：愛は共に幸せに生きること。

Mana 第六原則：全ての力は内から出る。

Pono 第七原則：効力は真実の尺度である。

翻訳 M . Hayashi (2005)

Copyright by Aloha International 2005